

雄郡地区タウンミーティング

平成23年6月2日（木曜）

【市長】 皆様、こんばんは。松山市長の野志克仁でございます。きょうは平日の夜間ですので、恐らく仕事のあった方も多数いらっしゃるかと思います。お疲れのところ、このように多数の方が集まっていただきまして、まことにありがとうございます。

さて、このタウンミーティング、雄郡地区で開催するに当たりまして、御快諾をいただきまして、受け入れていただきましたまちづくり協議会の役員の皆様方、本当にありがとうございます。

さて、私は選挙で、去年の11月28日に、ちょうど半年ぐらい前になりますけれども、選挙で7本柱の公約を掲げておりました。その1つ目に、「誇れる行政サービスで笑顔に」というのを掲げております。あと2つ目から申し上げますと、2つ目が「誇れることばで笑顔に」、松山は人を元気づけるような言葉があるまちだと思っております。正岡子規さんが、五七五、短い生涯の中で五七五に命を燃やしてこられた。夏目漱石さんが、小説「坊っちゃん」を書いた。司馬遼太郎さんが、「坂の上の雲」を書いた。今、路面電車には、皆さんに元気になってもらえるような言葉がついていますよね。あれは「ことばのちから」事業というんですけども、言葉を大事にしてきたまちだと思っております。「誇れることばで笑顔に」。3つ目「誇れるまちの安全・安心で笑顔に」、そして、「誇れる子育てで笑顔に」、「誇れる福祉・医療で笑顔に」、「誇れるまちの長所を活かし笑顔に」、そして、「誇れる地域の宝を磨き笑顔に」という、この7本柱を掲げておりました。そのイの一番に挙げておりますのが、「誇れる行政サービスで笑顔に」であります。

市役所でずっと座って、皆さんがお越しになるのを待っておったら、ある意味楽なんです。でも、私たちが皆さんの地区に出かけて行って、そして皆さんの地区のまず魅力はどんなところですか、そして課題や問題点、どんなところがお困りですかというのを聞かせていただくのが、このタウンミーティングであります。

松山市には、公民館本館というもので分けますと41の地区がございます。市長の任期は4年でございます。ですので、1カ月に1回のペースでめぐっていきこう。最初は4年でめぐっていきこうと思っていたんですけども、もうちょっと早めまして、3年で回り切ろうかなというふうに思っております。

まず、まちの魅力について語ってもらおうと申し上げたのはどういうことか。この公民館で言いますと41地区ありますけど、もともとは村だったようなところですよ。それぞれに特徴がありますよね。人はよく言うんです。うちのまちは大したことないわい、何も無いわいとよく言うんです。これは違う。人はついつい、同じまちに住んでいると、自分の住んでいるところを過小評価してしまうんですけども、これは違う。絶対にそれぞれいい特徴がある。そのいい特徴をしっかりととらえてまちづくりをしていくと、いいまちができるんです。その41の地区の集まりが松山なんですよ。ですので、皆さんにしっかりとそれぞれの地区の魅力をまず感じていただきたい、把握していただきたい。そして、その魅力を伸ばしていくにはどうしたらいいか。そして、一方で、もちろん課題や問題点もお聞かせいただいて、それを解決していくにはどうしたらいいのでしょうか、ともに考えていこうというのが、このタウンミーティングにあります。

進め方なんですけど、皆さんから出た意見、きょうは市の担当者も来ておりますので、この場でお答えできるものはすぐにお答えいたします。でも、ちょっと経緯を調べなければならぬというものもあるかもしれません。それは必ず持ち帰りまして、調べます。期間ですけども、国のことを調べないといけん、県のことを調べないかん、かわりがありますので。それを調べて、きっちりとお答えしますので1カ月ぐらいお答えにかかるかもしれませんけども、必ず皆様のところにきちっとしたお答えを返します。ある意味、面倒なことをしようというのが、この松山版タウンミーティングでございます。それは、私がいつも申し上げているんですけど、めんどいことをしたら、その向こうには、皆さんのよりいい笑顔が待っているからと、そう思っているからであります。必ずお答えは、皆様のところにお答えをいたします。

専門的な事柄になりますと、私だけではなかなかお答えがしにくいところありますので、きょうは市の担当を連れてきておりますので、それぞれ、どういう仕事をしているだれですというのを自己紹介させていただきます。どうぞ。

【市民部長】 市民部長の三好龍彦と申します。本日、このタウンミーティングを統括する立場に立っております。よろしく願いいたします。

【保健福祉政策課長】 保健福祉関係を担当しております、大濱といいます。よろしく願いいたします。

【生涯学習政策課長】 教育委員会を担当しております青木と申します。公民館とか

学校教育の分野とか、そういった面を担当しております。どうかよろしく願いいたします。

【消防局総務課長】 消防・防災を担当しております消防局総務課長の岡本と申します。どうぞよろしく願いいたします。

【環境政策課長】 環境部を担当しております石丸です。環境は、自然環境保全から地球温暖化、いろいろ幅広いんですけれども担当しております。よろしく願いいたします。

【公園緑地課長】 公園緑地課の川口でございます。公園の整備とか維持管理、公園行政全般を担当しております。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

【市長】 市の仕事は大変幅広いです。小学校・中学校のこと、また、競輪場もあります。クリーンセンターもあります。保健所もあります。図書館もあります。大変幅広い仕事になりますので、担当も来ております。よろしく願いいたします。

きょうは1時間半という時間でありまして、皆さん、この1時間半、肩肘張っていますと疲れると思いますので、ざっくばらんな雰囲気であればと思いますので、どうぞ肩肘張らずに、きょうは取材の方も来られていますけれども、あしたの新聞で載るのかな、載らないかな、そういうところですけども、こういうふうな形で載るんだなというのを感じていただけたらと思っております。皆さんと、とにかく前向きないい議論ができればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

【司会】 さて、本日のタウンミーティングでは、テーマを3つ設けております、1つ目は雄郡地区の魅力、2つ目は子どもと暮らしの安全・安心について、そして、3つ目がまちの環境と高齢者の福祉についてです。これらは、皆さんから参加申し込みをいただいた際に寄せられた御意見をもとに、雄郡地区まちづくり協議会と松山市とで相談し、決めさせていただいたものです。これらのテーマに沿って、皆様の御意見をお伺いします。皆さん、お話ししたいことが幅広くあるかと思いますが、きょうは雄郡地区のタウンミーティングです。どうぞ、雄郡のまちづくりならではの話題をどんどん出していただきたいと思います。

それでは、最初のテーマ、雄郡地区の魅力についてお話しされたい方は挙手をお願いいたします。

【男性】 私は、明るく楽しい皆の茶の間、雄郡公民館の館長をしております。きょうは、まちづくり協議会の副会長という立場で、雄郡地区の魅力について話をさせて

いただきたいと思います。

この雄郡地区は、戦前は農地が大変多いところで、のどかな田園地帯であったと伺っておりますが、戦後は、急速に宅地化が進みまして、今や人口は3万1,400人を有する、市内では石井地区に次ぐマンモス地区となっております。近年は高層マンション等も立ち並んで、大型商業施設も進出して、一層都市化が進んでおる状況です。

こうした状況の中で、私の方で考えさせていただいた魅力というのは、安心・安全なまちであること、自然災害等も少なく、自主防災組織も100%達成ということで、大変防災・防犯意識が高い、そして、市の中心部に近いことから、交通の利便性も大変高い、医療機関等も多い状況で、住みやすく暮らしやすいまちであることが1つの魅力と思っております。

もう1つは、歴史的な文化遺産あるいは史跡なども大変多く、文化の香り高いまちであることも1つの魅力と思っております。そういった史跡、遺産等、住民の方にとりましては、安らぎであったり、憩いの場であったり、心のよりどころになっておると思っております。

昭和62年、松山市で我がまちのシンボルを選定して、それぞれの地区にシンボルを誕生させたと思いますが、雄郡地区では、子規の歩いた道をシンボルとして選定しており、大きな魅力ではないかと思っております。

正岡子規が、日清戦争に従軍して、途中で体調を壊して松山に帰省をされた。その際に、漱石が下宿をしておった愚陀仏庵へ子規が、下宿というか、同居をさせてもらったということで、8月27日から10月17日までだったと思いますが、50日間生活を一緒にしております。そのときに、体調のよい日に、子規は10月2日には石手川堤の方へ散策に出かけて、10月7日には余戸、今出方面へ散策に出られておる。その途中で、例えば薬師寺、あるいは雄郡神社とか、鬼子母神とか、いろんなところに立ち寄って俳句を詠まれております。そういうことで句どころが多いことが大きな1つの魅力ではないかなと思っております。

そのほかにも、義士祭で有名な興聖寺とか、正宗寺、子規の住まいの跡がありますけれども、雄郡神社もございます。秋祭り、福祭り等も行われております。それから、郷土芸能としては竹原の獅子舞、今に継続して保存、伝統芸能を続けております。

最後に、一番の魅力を申し上げます。心優しい、笑顔あふれる美人が多いということが一番の魅力であろうと思っております。

【市長】 私も、雄郡神社のことは、子規さんと関係のある場所だと覚えていたんですけども、興聖寺であったり、正宗寺であったり、薬師寺ですか、鬼子母神とか、そういうお話を聞かせていただいて、こんなことを思い出しました。

この間、国内のいろんな旅行会社さんを集めて、大阪で旅行説明会をやってきたんです。どうぞ松山に観光に来てくださいという商品説明会を私みずからが、15分間、一方は高知県知事がしゃべって、一方は私がしゃべったんです。高知県の観光と松山市の観光についてしゃべったんですけども、そこで大変評判がよかったのが、「松山は行く」という旅行商品です。ハイキングのハイクと五七五の俳句をかけ合わせて「松山は行く」、いろんなスポットを歩いてめぐりましょうという旅行商品ですけども、これはすごい評判がよかったんですよ。

今、雄郡のいいところ、これは本当、歩いてめぐれるんやったらいいなと思っていて、旅行商品に限らず、こういうところを地区の方とめぐっていかれると、地区の魅力をより地元の人を知ることになって、いいかなと感じました。ありがとうございます。「明るく楽しい皆の茶の間」いいフレーズですね。ありがとうございます。

【男性】 市長さんは台湾に行かれて、映画づくり何とか、いろいろなこと。その内容と、雄郡地区のいいところを映画紹介で受け入れられるのかなということを含めてお話ししていただければと思います。

【市長】 今、台湾のことについてお話をいただきましたので、お話をさせていただきます。台湾に2月に行きました。中国、韓国、台湾の方って、お金持ちの方って実にお金を持っていらっしゃるんですね。東京や大阪にはもう大体富裕層は行かれて、次のところを探しているという状況があります。松山は何で台湾を重視しているかという、台湾は温泉好きの方が多いです。台湾には、北投（ベイトウ）温泉という台湾最古の温泉があります。松山には、日本最古の温泉、道後温泉がありますよね。そういう姉妹温泉提携ができたらか。そして、台湾の方と味覚が合うんですね。そして、とても親日、日本のことを好きである方が多いというので、台湾と今まで強いきずなを結ぼうということでやってまいりました。

外国と飛行機を飛ばすのにいろんなやり方があるんですけども、例えば、1回飛ぶごとに5,000円補助を出そうというやり方もあります。でも、これは、飛ばば飛ぶほど、その負担がどんどん膨らんでいくんです。際限なく膨らんでいく。でも、松山はそういうやり方じゃなくて、人と人のきずなで台湾と結びついていこうというやり方をや

ってまいりました。これをやると余りお金がかからないんですね。人と人と、しっかり結びつきができるので、2月に行ったときに、700人、台湾の人を松山に来させましょうという約束ができたんですけども、地震が起こってしまったので、仲良くしている台湾の方が、仲良くしている松山に行って、お祭りという気分にはならないので、延期させてくださいというメッセージをもらっていました。ですので、5月に1泊2日で行ってきて、松山は、安全ですのでどうぞ来てくださいというメッセージを言ってまいりましたら、6月、7月にかけて100名の方がまず来てくれることになりました。あと、また残りの600人の方が徐々に来てくれる、そういう関係があります。

台湾のテレビ局が、アジア8カ国で放送するドラマをつくってくれることになりましたので、ものすごい広告効果があります。ロケ地を選ぶという話になっているんですけども、例えば、興聖寺とか正宗寺とかをお願いできるものか、観光産業振興課とか国際文化振興課の担当になりますので、それを言うておきます。松山がドラマのロケ地になりますので、そういうところも加えてもらえるように言うておきましょう。

【司会】 それでは、続きまして、2つ目、3つ目のテーマ、子どもと暮らしの安全・安心について、まちの環境と高齢者の福祉についてのお話に移りたいと思いますが、事前にお寄せいただいていた御意見のうちに、雄郡地区の課題として、石手川公園の整備に関しての御意見が多く寄せられておりますが、いかがでしょうか。

【男性】 泉町なんですけど、非常に近くにありますので、散歩に行くんですけど、そのときどき、会う方に、ぜひ木に名前を書いていただけないかという言葉をよく聞くんです。ぜひ、経費もかからないし、実現をよろしく願いしたいんですけど、いかがでしょうか。

【市長】 石手川公園、整備を行う前から、昔から木は大分茂っていたようですね。ですから、樹齢100年を超える大木もあるようです。今、御意見をいただいた木の名前をつけるというのは本当にいいことだと思うんです。散歩とかジョギングをされている方が多いのはよく知っているんですけども、名前を知らなかったら愛着ないですよ、でも、何とかの木というのを知るだけで、愛着が出てくると思います。いいアイデアだと思いますので、これはやる方向で考えさせていただきたいと思います。

公園管理協力会、また、地元の皆さんと一緒に、どういう形でやっていったらいいのかを検討させていただきたいと思います。

【公園緑地課長】 ただいまの御提案は、非常にすばらしい提案と思っております。

子どもたちにとっても、木の名前を覚えたり、石手川公園は古くからある大きな木もありますので、シンボルツリーとして皆さんに親しんでいただけるような形で、設置に向けて、どういうデザインにするかとか、どういう設置にしていくかと。実は、石手川公園は高木すべてで3,000本以上ありまして、3,000本すべてに名前をつけるわけにはいかないものですから、どの辺のやり方でつけていくかをこれから協議してまいりたいと考えております。

【男性】 私、よく石手川を散歩するんです。今言われた大木が、ヤドリギがかなり繁殖しとりますので、私が見た範囲では、1本はかれこれ半分ぐらい死んどんじょなかろうかと。ヤドリギが栄養を吸ってしまうんですよ。それを10年か15年前に1回、松山市が切つてのけたような記憶があるんです。そんなのもう一遍やってもろたらと思えますが。

【公園緑地課長】 5月18日、公園内のエノキという大きい木が倒れまして、私どもでも調査をしたところでございますけれども、見た目には余り害はないような木でも、中に腐朽菌という菌があつて危険な木もあるということですので、樹木医の専門の方に診断をしていただきまして、調査をしてまいりたいと考えております。

【市長】 樹木医さんにも見てもらいながらやっていきたいと思えます。

【男性】 今、公園を整備してもらつて、駐車場もきれいになって、まことにいいことなんですが、ただ1つ、テニスコートを大学生が使用するとき、バイクに乗つてきて道路へすごくとめるわけなんです。駐輪場をあそこにつくっていただいたら非常にいいと。交通事故にもなりかねないような状態なので、一度見てもらつて、対処してもらいたいと思えます。

【市長】 どうなんですか。バイクを奥に入れてないのか、その場所がないのか、モラルの問題なのか、その辺はどんな感じですか。

【男性】 そこが、場所がない。もう道路、縁石ぎりぎりに、きれいに整列はしてあるんですけど、何せ道路の幅が狭い。車で離合するときでも、どうしても狭くなって、通行する人もあぶないというようなことなので、お願いします。

【公園緑地課長】 石手川公園周辺につきましては、県とともに石手川公園美化協力会も含めて、道路などを含めて、検討している会もございますので、一度現場で調査をさせていただきまして、管理協力会とも御相談をしまして、これから整備をしていく地区ですので、できることがありましたら検討してまいりたいと考えております。

【市長】 平成26年度まで石手川の公園を整備しておりますので、よろしくお願ひします。

【司会】 それでは、あと、ごみ問題についても事前に幾つか御意見が寄せられておりましたけれども、このことについて御発言はございますか。

【男性】 ごみの収集の問題、これは、4月1日にペットボトルの収集方法の変更等がありまして、我々はごみについて、次の資源に活用するという松山市に態度については全面的に支持をして、支援をして、協力していきたいと思っておりますけれども、ごみの収集をステーション方式となると、まちまちの1カ所、2カ所、3カ所にごみの山になる。これが分類をされていると何の問題もないんですよ。市役所では、そのところが把握されていないんじゃないかと思うんですが、実はほとんどのところで違反のごみがでてるのが現状であります。それをどうやって、市役所に問題なくやっているかという、御近所の皆さんが自発的にもう一遍分類をし直しているのが事実です。これが、お年寄りが多いということになると、だんだんしんどくなって、今限界に来ておる部分があります。

ボランティアでやっていただくことは、結構なんですけれども、市の方で、そういうボランティアでやっておる実態がどれぐらいあるのか、場合によっては、ボランティアじゃなくて、例えば民生委員とか広報委員であるとかいうのは、年間にして幾らかの実費弁償費も支払っておったりするので、ごみ当番を、松山市として制度化して、よろしくお願ひしますということがあっていいのではないかと思います。

ごみ当番について、ごみ当番の人が違法ごみを発見すると注意をするんですね。注意をしますと、ほっとけと。お前に要らんことを言われる筋合いはないという反論が返ってくるものがあります。これについても、松山市としてきちんと制度化して、不法なごみ投棄については注意をして結構ですと。反抗する人は、名前を聞いて、市役所に報告して、市役所から注意をするという1つの権限をもたしてやる。それぐらいのフォローをして、初めてボランティアとしてのごみ当番の意味があるんじゃないかと思っておりますので、ごみ当番の実態をよく把握して、どうやったらごみ当番の人が少しでも報われるかを御検討いただきたいということです。よろしくお願ひします。

【市長】 ペットボトルの単独収集、4月1日からこれをやるに当たりまして、担当課にきちっと皆さんに説明ができていますかということで聞きましたら、およそ300回、地域での説明会をする、また、チラシの全戸配付、広報紙でする、また、メデイ

アで取り上げていただくことで周知啓発をしたということがありました。

実は、私、今もごみを出しております。月曜日、木曜日は一般ごみなんです、うちの地区は。紙ごみの日とか、プラごみの日とか、自分で出しに行きよります。なかなか時間もとれないんですけど、できるだけ現場に出るようにしております。これからも現場を大事にしていきたいと思うんですけども。4月の第2週ぐらいだったですか、うちの地区の周りで見ても、やっぱりごみがまだ残っている。違反ごみというシールを見ましたので、担当課と、広報も呼んで、例えば広報紙を使うなりして、もっとPRしないと、皆さんにどうもまだわかっていただけないというので指示も出しました。そのような形でやってはおります。ちょっと落ち着いてきたと担当課からは聞いているんですけども、しっかりとした広報をしていきたいと思っております。

ちゃんと出してくれとりゃいいのに、分別をせないかん、ものすごい腹が立つと思います。本当、モラルをしっかり守ってやっていただきたいと思うんです。

今、雄郡においては、まちづくり協議会というすばらしい組織ができています。まちづくり協議会で話していただいて、ごみの担当の方にはお金を多少なりともお渡しするとかも決めていただけたらと思っております。

【環境政策課長】 環境部でございます。今、市長からも説明がありましたけれども、取り残し、分別ができていないというのがだんだん減ってきているというのは事実ですが、一部のところでまだ残っている。その残っているのがその他プラの方にペットボトルを抜くのを忘れることが多いんですけども、だんだんそれも減ってきているということです。

それで、生ごみとかいろんなものを、プラスチックだけでなしに、瓶、缶のものを地区町内会広報委員の皆様が分別しているということは聞いております。雄郡地区は熱心に、看板を立てているというのも聞いております。本当にありがたくは感じております。

ごみ当番に注意、権限を与えるということもありましたけれども、今、廃棄物減量等推進委員制度がありまして、各地区に何人かいらっしゃるんですけども、そちらの方で協力いただいて、腕章を渡して、ごみステーションで注意してください、目を向けてくださいということで、協力はいただいているところがございますけれども、すぐに権限というのは危険かなと。それで、今後、地区の方に協力いただいてごみの排出をお願いしたいという感じでございます。

【男性】 今、ごみの件でお話したんですが、私、ごみ指導員という立場で、私の町内は7時に生ごみを集めに来ます。私も市長も顔が優しいから、指導するとき、にっこり笑って注意すれば大体は聞いてくれます。私も指導員として皆さんにもお願いしときたいんですが、どんな人でも、勝手な人でも、優しい言葉で言うたら言うことを聞いてくれます。その件は何とかうまいこといっとなですよ。私も、けさの7時の生ごみ、それから、缶、瓶も、ボランティアが好きでいつも、朝起きもできるので参加させてもらっています。非常に楽しくさせてもらってますよね。朝早く起きて、自分の健康にもなると。そういう前向きな気持ちで出して来る人に接したら、よう言うことを聞いてくれます。それはいいんですが、ただ、最近困っとるのは、たばこのポイ捨てなんですよ。

近隣には専門学校がございます。マンションもふえまして、飲食街のお姉さんという方がたくさんおいでだった。そういう方がミニスカートでたばこの火のついたままポイ捨てするんですよ。この人らに聞いたら、手で消すと手が汚れる、足で踏むとハイヒールが汚れるという持論の方が多いんですよ。それと、専門学校の人は自転車に乗りながらですから消せれんのですよね。けさも、生ごみの前に掃除しよったんですよ。火のついた穴が2カ所もあるんですよ。これは、以前、松山市もポイ捨ての条例を何かするかとか言いよったでしょう。これが、最近全然聞こえなくなって、日本で誇れるのはポイ捨てのない松山市とか、そういうのをつくってもろたら非常にありがたいと、そう思って意見させてもらいます。よろしくお願いします。

【市長】 ありがとうございます。今、現場ならではのいい意見を教えていただきました。優しい言葉で言った方が結構聞いてくださる。やっぱり言い方であるのかもしれないですね。こっちも腹立っているから、が一つと言うと、ぶつかってしまって、いらんこと言うなとなるのかもしれないけれども、やっぱりそれは現場に出られているならではの答えだと思います。

【市民部長】 たばこに関して、今、松山市では条例が2つあります。「松山のまちをみんなで美しくする条例」、これはポイ捨て条例といいまして、空き缶とかたばこの吸い殻とか、これをなくしましょうという条例です。もう一つは、一昨年に制定、12月に可決成立して、1月から施行いたしました「松山市歩きたばこ等の防止に関する条例」という条例があるんですけども、これは、公共空間での歩きたばこをやめましょうという条例なんですけども、松山市全体を努力義務としてやっとなですけども、

禁止地区というのも決めているんです。ポイ捨て条例と同じで、堀之内、ロープウェー街、道後温泉、それから、大街道、銀天街という形でやって、禁止区域では今、集中的に取り締まりをやっております。条例の施行前と施行後で、大幅に減少はしております。ところが、その禁止区域というのは、やはり指導員が指導しながら、声かけして、やめてくださいと言ってお願いしとんですけども、それ以外の地区については、皆で守りましょうという努力義務という形です。みんなで美しくする条例と同じで、モラルに訴えていこうと、よそで罰金をとっている、東京の千代田区とか大阪とありますけども、これをやりますと非常に争いも起きるといふのがありますので、モラルに訴えて、徐々にやっていきたいと思っておりますので、もし、そういう光景を見たら、松山市では歩きたばこはいかんのよという声をかけていただいて、ちょっと怖いお兄さんだったら、市の方に連絡して、歩きたばこの指導員の協力も得ようと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【市長】 ポイ捨て条例ができて、ちょっとたつんですかね。もうちょっと広報をする必要があるのかもしれないね、今のお話を聞くと。ですので、広報紙、また、松山市のホームページなどで、こういうルールになっていますといふのをPRする必要があるんでしょうね。これも検討させていただきます。

たばこの好きな方も、たばこを嫌いな方も、それぞれの立場があって難しいところですけど、今のお話を聞くと、火をつけたまま捨てちゃうんですね。火事も怖いですね。子どもたちへの副流煙という問題も心配ですね。

この間も、実は市役所の別館の1階がたばこを吸うところになって、換気扇があつて、自転車置き場のところにたばこの煙が出てくる場所があつたものですから、閉鎖しました。市民の皆さんに影響があるところ、市役所として見ばえが悪いところは、よくよく考えて、そういう指示もしっかりと出していきたいと思っております。

【男性】 違法ごみの一例として、車でごみを持ってきて、ポイとほうり出していく人がおるんですよ。それはよその人なんですよ。我々は注意のしようがないんですが、こういう場合に、車のナンバーはちゃんとわかれば、松山市の方から指導はしてもらえるのか。

もう一つも、国民健康保険の保険証なんですが、松山市はいまだに帳面型になっております。カード式になっている方が、非常に便利なので、松山市もできるだけ早くカード化してほしいという要望がありましたので、お考えなり、カードの導入の予定な

りについてお伺いしたいと思います。

【環境政策課長】 まず、車からのポイ捨ての件ですけれども、事業系廃棄物だったら厳しく罰せられます。だけど、市民の方が、よく通勤の途中にごみステーションに置くとかいうことがありますけれども、その取り締まりというのはできないです。電話がかかってきたからといって、それを規制したり、問い詰めるということとはできないので、済みませんけれども協力してほしいと、注意ぐらいは、というのが、ごみステーションは、ちゃんと自分のごみステーションに捨ててほしいというのは行政の方は思っておりますけれども、それでしたからというて、問い詰めるということは今のところはできない。済みませんけれども、注意もするというところぐらいですので、協力をお願いしたいと思います。

【市長】 国民健康保険証のカード化についてお答えをいたします。これ、今すぐに直そうとすると、莫大な費用がかかるんです。平成25年度末の新制度をスタートできるように、制度設計をしまして、そのときに併せてすると経費削減ができますので、そのときと併せてできればと思っております。皆さんからいろいろ御意見をいただいておりますので、そういう声には耳を傾けて、便利で、一番いいタイミングで切りかえていこうと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【男性】 ふれあい・いきいきサロンについて述べさせていただきます。少子高齢化社会になり、いろいろな問題が多い状況の中であっても、松山市は全国に類を見ないすばらしいふれあい・いきいきサロン実施要綱が制定されています。このいきいきサロンの運営のシステムをもっと有効に運用できないか提案したいと思います。

まず、サロンの運営要領の、松山市と全国の違いをちょっと調べてみました。全国の一般的なサロンの内容、サロンとして認める内容なんですが、要するに会員が、サロン会員が集まって一緒に過ごせばすべてよいということになっていまして、ただし、サロン運用補助金は年間2万円から10万円程度です。活動援助員費が支給されている自治体はございません。

【保健福祉政策課長】 福祉を担当しております福祉政策でございます。この監査請求については、5月20日に御意見をいただきました内容について、監査委員が厳正に審査をさせていただきました。その結果として、違法性とか、あるいは不当性は見受けられなかったという一たんの結論が示されたところでございます。こういった内容を受けまして、今後サロンについても、より充実した運営と拡充をしてまいりたいと

いうふうに考えておりますが、御意見もあるようですので、保健福祉政策課として、場所を改めてお受けさせていただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。監査請求の内容については情報公開を行っておりまして、告示もしておりますので、皆さん、もしそういった内容をお知りになりたいということであれば、周知もしてまいりたいと考えております。

【女性】 莫大なお金はかかりませんので、ぜひお願いしたいと思います。皆さん、ここに来られるときにお気づきになりませんでしたか。56号線沿いの真ん中に、全部木が枯れてしまっているんですね、お花も。もう何年もそうなんです。何か植えてほしいと思うんです。以前は両サイドにも何か植わっていたんですね。そして、電線もずっとあったんですけれども、美観を損なうというので地下に埋設しました。それはそれでいいんです。だけど、それ以前の問題で、草木が枯れてしまって何もならないんですね。両サイドの植木、植えてくださいってずっと、何年か前に申しあげましたらたしかに植えてくださいました。そしたら、それに虫がついているんです。その消毒もしてくださっていません。それで、私の家の前にたった1本だけ残していただいています。その木にいつも話しかけながらお水をあげているんですね。それも枯れそうになっているんです。それも何とかしてほしいと思います。

【公園緑地課長】 直接、公園緑地課とは関係ない話ですけれども、私も都市整備部の中におりますので、お答えさせていただきたいんですけども、国道沿いの街路樹のお話ですから、これ、直接要望は国の方になるんですけれども、きょう、こういうお話がこういう場であったことは、私どもからも国にお話をさせていただきます。実際にものがあそこに植えられるかどうかは、国の方の話になるんですけども、御要望はさせていただいたらと思っております。

【女性】 ぜひお願いしたいと思います。周りに住んでいる住民のことも考えてくださいませ。排気ガスをいっぱい吸っているんですよ。環境にすごく悪いんです。

【公園緑地課長】 この後、はっきりした場所を教えていただいたら、要望させていただきます。

【女性】 皆さんお気づきの、ずっとその前、ずっとそうでございます。

【男性】 雄郡公民館にいろいろ携わっておりまして、行事のお手伝いなどもさせてもらっているわけですけれども、雄郡公民館の本館のことについてお尋ねというか、質問をさせていただきたいと思います。

この雄郡公民館は、昭和55年に建設されたということで、人口3万人以上にふくれあがったと、そして、分館も16分館ありますよね。その16分館の中でも一番の本館で、中核をしている本館が、昭和55年ですから、耐震補強の多分あれになっているのではなかろうかということと、それと、もう一つは、いろんな会議をやるたびに、雄郡公民館の本館は3階でいろんな会議をします。そのときに、足を1つ1つ上がりながら会に臨んでいる高齢の方がおられました。また、これはおりるときがまた大変なんです。膝にはかなり負担がかかりますので。以前エレベーターを設置するという話を、嘆願書じゃないですけどを出したという話も聞きました。それで、お金のかかることなんですけれど、耐震補強と同時に、例えばエレベーターの設置とかが可能なのか、それとも、また耐震補強の時期とかを教えていただけたらと思ひまして、よろしくお願ひいたします。

【市長】 これは、私も同じ思いをいたしました。雄郡公民館3階に畳の間がある、あのときも、おじいちゃんだったか、おばあちゃんだったかが一生懸命上がりよるのを見たんです。同じ光景でした。私が先に上がって、ぼちぼち行きますけんみたいな光景でありました。

担当に3階まで階段でおじいちゃんおばあちゃんが上がるのはしんどいですよ。何とかならんのですかという話をしたんですけども、雄郡の当初の計画は28年度でエレベーター、バリアフリー化ができる予定だったんです。というのが、雄郡の公民館というのは比較的耐震強度が強かっただけに、後回しになっていたんです。平成28年。雄郡は2番目に大きい地区で、利用者も多いと聞きました。ですので、前倒しをすることを指示いたしました。

今回、3月11日に地震と津波が起こりまして、特に小学校、中学校の耐震化を早く進めなさいと言っております。それは子どもたちが長い時間を過ごす場所だから。そして、避難してくる場所だから。公民館も同様に、皆さんが避難をしてくる場所でもあります。そして、地区の皆さんが長い時間を過ごすところでもあります。何とか前倒しできないかという指示を出して結局、雄郡公民館については来年度設計を行いまして、再来年度、平成25年度に完了の予定でございます。

【生涯学習政策課長】 雄郡公民館のエレベーター設置につきましては、24年度に設計を行って、25年度には施設のバリアフリー化、エレベーターの設置が完了いたします。これは、今回耐震化が必要な公民館が7つ、8つあるんですけども、最後の完

了年度を一応30年度に予定していたんですけども、もう2年早く済まそうということになっております。この雄郡公民館は、耐震の指標が高いということで、軽微な耐震の補強で済むということで、ほかの公民館のスケジュールとは切り離れた形で、25年度に向けてエレベーターの設置を行っていきたいと考えております。

【市長】 私から追加をさせていただくと、やっぱり耐震化の必要な公民館とか消防団のポンプ蔵置所、そういうふうに耐震化を急がなくちゃいけないところってやっぱりあるんですよ。でも、財政は限られとるんです。私が市政に入らせていただいているの悩みというのが、今、松山市の歳出、一番大きなウェイトを占めているのが民生費と言いまして、福祉にかかわるお金です。これが歳出全体の40%を占めております。昨年度から今年度、52億円ふえました。そのうちの生活保護費が去年から今年度で、19億8,000万円ふえた。およそ20億円ふえたんです。昔の高度経済成長の時代やったら、どんどん税金も入ってきよったんでいいですよ。でも、今の時代、そんなにふえるわけではないですよ。ということは、20億円、生活保護費がふえたんだったら、どこかで20億円削らないかんのです。これが私の悩み。昔のように、本当にお金が潤沢にあった時代やったら、わかりました、どんどんやりましょう、そういうことができたかもしれない。でも、それはできない時代になってしまった。国も県も市も大変、国の借金がもうおよそ1,000兆円でしたっけ。もうそんな時代、知恵とアイデアをこなさなければならぬ時代になっている。ですので、皆さんに御協力もいただいているいろんなことをしなければならぬ時代と思っています。

戦後、日本は焼け野原になった。社会資本を全国で整備していくには、国でどっと、全国一斉でやるんだったら都合がよかった。でも、戦争からもう66年もたった。事情が違う。それぞれ、雄郡だったら雄郡、桑原だったら桑原、五明やったら五明、北条やったら北条で、それぞれよさがある、特徴がある。それぞれを生かしたまちづくりをできんといかんと思うんです。だから、皆さんでいい組織をつくってください、そういういい組織ができたなら、財源、権限をお渡ししましょう、皆さんの地区でいいまちをつくってくださいねというのがまちづくり協議会なんです。

行政が主導でやっていったら、どこの地区も同じような地区ができちゃいますよ、金太郎あめみたいな地区が。そうじゃないですよ。それぞれの地区で、一番その土地のよさを知っているのは皆さんだと思うんですよ。ですので、これまでは行政主体、住民参加と言っていたんですけど、それは逆です。住民主体、行政参加というのが、

いいまちづくりができる形だと思っています。でも、ここで間違えていただきたくないのは、ほんなら、それは役所が楽しよるんじゃないかと思われるかもしれません。違います。我々役所の人間も、皆さんと一緒に汗を流すというのを考えております。これを基本にしております。皆さんが一番地区のよさをわかっていると思いますので、今、雄郡にはまちづくり協議会ができています。財源と権限をお渡ししますので、いいまちをつくっていただいたらと思います。よろしく申し上げます。

【女性】 私、女性防火クラブを担当しております。今年度6月1日から火災警報器の義務づけということで、皆さんに呼びかけまして、雄郡地区も回覧板で5回ぐらい、全家庭に回させてもらって、火災警報器の設置をお願いしておるところですけども、たくさん設置もしていただきまして、消防署の方からの設置済証というのもお配りして、大体は行きよると思うんですけども、松山市全体ではどのぐらい今進んでおりますかね。設置状態を教えてもらったらと思います。

【消防局総務課長】 松山市全体の統計的な数字といいますのは、6月1日現在はまだ出ておりませんんですけど、ちょっと前の数字ですと55.2%程度だったと思います。ただ、これは期限前に急激に、全国的に伸びている実績がありますので、現在はもっと伸びていると思っておりますが、また、その数値はアンケート等を出したいと思っておりますので、ぜひ皆さん方はもう100%設置していただきますようお願いいたします。

【男性】 今、財源のお話が出たのでお聞きしたいんですが、地方自治体にある埋蔵金のことについてですけども、松山市においては、私の知っておる限りにおいては、92億円ほど税金の未納とか、保険料の未納であったりする埋蔵金と言われるものがあるかと思うんですが、そういったものについて、今後どういった方向で市としてやっていかれるのかどうかお聞きしたいと思います。

【市長】 埋蔵金と言ったら、何か市役所でプールしているみたいなイメージに聞こえちゃいますね。未納ですよ。未納ですから、我々としても納めてほしいんですよ。これについては、保育料とか給食費とかになりますよね。

【市民部長】 これは多岐にわたっておりますので、私でお答えできる範囲で。言っておられますのは公共料金の未納、地方税を初めとして、保育料の未納とか給食費の未納とか貸付金の未納とか、本当に多岐にわたっております。我々も一生懸命徴収しておるんですけども、景気等の問題もございまして、集めきれない問題もあると。その中で、税金につきましては、集めるのが困難な事例につきましては、愛媛地方税滞

納整理機構という、県内20市町が連携して徴収する機構をつくっております。そして、また平成23年度中には松山市の市税催告センター、滞納をしないような仕組みをやっております。しかし、こうやって一生懸命やっておるんですけども、現実集めきれないという事態がございますけども、これは一生懸命、我々、払っていただくように、あらゆる手を尽くして頑張っていきたいと思っております。お願いいたします。

【市長】 私も給食費のことについて気になるものですから調べましたら、学校給食法があって、学校の設置者、保護者それぞれで負担区分というのが規定されているんです。給食費というのは、どんなお金がかかるのかというと、人がつくるから人件費が要ります。施設が要ります、施設費。施設があったら、修繕することもあります、修繕費が要ります。もちろん光熱費も要る。そして、食材料費が要ります、食材が要ります。人件費、施設設備費、修繕費、光熱水費、これは松山市がお金を出しております。そして、食材料費だけ保護者の方に払っていただいているんです。小学校の場合は1食230円、中学校の場合は1食280円です。松山市の場合、人件費、施設整備費、修繕費、光熱費は我々松山市の方で。松山市が払っているということは、皆さんで払っているわけですよ、皆さんで。ですので、食材料費ぐらひは払っていただきたいなというふうに思います。これは、ちょっと今の言い方はきつかったですけども、さっきのたばこのことも、ごみのこともそうですけども、本当にモラルが下がっている世の中になっていて、そういう事例を目にするとつらいんですけどね。もちろん家計が苦しくてという方もいらっしゃると思います。そういう方のためには、こちらの方でサポートさせていただく、給食費も方もサポートさせていただいているんですけども、払えるのに払わないという方もいらっしゃるの、なかなか難しい時代になっているなということを感じております。

【男性】 防犯灯の件でお聞きしたいことがありまして、今、各電柱に、30メートルごとぐらいに防犯灯がずつついているんですけど、器具がものすごく古くなって、古いので、蛍光灯のカバーがごみやら何やらいっぱいついて黒くなって、実際、電気はついとんのやけど、道路の明るさが余り明るくないんですよ。器具が壊れたり、新しく新設したら、新しい透明のカバーがついておるんですよ。外から見ても、その中に蛍光灯が見えるんです。それは電気をつけると、ものすごく道路が明るいですよね。藤原町なんかでも、新しいとこと古いとこと、比べてみるとものすごく明るさが違うんですよ。そこらあたり、やっぱり防犯、危ない時代やから、もっと明るくなったら

と思ひまして。

【市民部長】 地域の防犯灯は、町内会の方が管理していただいております、例えば、蛍光灯の球が切れて消える場合と、器具全体が古くなって切れる場合とあります。そうした場合には、町内会から、市民参画まちづくり課に連絡をいただきますと、器具取りかえ、あるいは球を取りかえるという手続きをやっておりますので、役員を通じてお申し込みいただいたら、できるだけ早く対応させていただきたいと思ひます。

【男性】 器具は壊れたりしたら、割とすぐにかえてくれるんですけど、壊れていないのに取りかえてくれと行って、言えるものか、言えんものか。

【市民部長】 基準の照度を下回っている場合には取りかえます。連絡していただければ、職員が出向いて、照度を確認しますので、町内会の役員の方から連絡していただくようによろしくお願ひいたします。

【男性】 きょうのテーマと、3つから、ほんの少しずれるかもしれないんですけど、中村前市長は、「坂の上の雲」って非常に力をお入れになられています。今度の市長も、松山には四季が5つあると自慢されておられます。よく聞かせていただきます。3つのテーマから少しずれて申しわけないんですけど、「坂の上の雲」全体から見て、松山全体から見て、雄郡のかかわりみたいなものを市長としてはどんなようにお考ひいただいておりますのかお聞きたいのと、もしお答えできるなら、その自慢の愚陀仏庵はどのような状態か知っておられるのかということもお尋ねしたいと思ひますので、お願ひいたします。

【市長】 わかりました。雄郡のとらえ方、冒頭に言っていた、医療機関が多い、そして、大変中心部に近いというのは、これは雄郡だからというよさですよ。私、松山の清水小学校の入学、卒業でございます。中学校は、伊予三島に行きました。そして、高校からは、実家が北条なので、北条から通いました。清水小学校の者からすると、大街道や銀天街やまつちかに行くのは、まちに行くというて、うらやましいんですよ。北条なんかに住んでおるときなんか、もっともっとうらやましいんですよ。ですので、市内中心部にある、そして、医療機関が大変多いというのはうらやましいことだと思ひますので、これを生かしたまちづくりをしていただけたらというふうに思ひます。さっき、雄郡神社とか正宗寺、興聖寺の話も出ておりましたので、そういうところ、歴史の部分も生かしたまち、そして、雄郡は農業されている方も多いと思ひますけども、地産地消ができる場所だと思ひております。日本は食料の自

給率がカロリーベースで言いますと40%です。100を超えている国が先進国で多い中で、日本は40%です。ですので、地産地消が進めばいいな、市民農園みたいな使い方もできればいいななんていうふうに思っています。野焼きが難しい時代になったとか、農作業が難しい、朝早くからすると怒られちゃうとか、農薬の散布が難しいとかいう、なかなか難しい時代ではありますけども、そういう地産地消のできる場所ともなるかなとも思っております。

それで、愚陀仏庵の件ですが、二番町に来てほしいという方もおいでるし、道後に来てほしいという方もおいでるし、そして、もともとあった場所、萬翠荘の方に来てほしいという、やっぱり3つの意見があります。1つに絞る以上は、反対という声も出てくると思っております。これは、本当に難しい問題ですけども、県の施設ですので、県が主体となって考えるものと思っておりますので、県の推移を見ながらという形になるかと思えます。

【市長】 私の方から締めさせていただきます。きょう、皆様からいろいろ意見をいただいて、市政入って半年で、私の考えていること、思い悩んでいることなどもお話をさせていただきました。重ねてになりますけども、やはり、行政が主体でやっていったら、松山、北条、中島で、全部で41地区ありますけど、本当に金太郎あめみたいなまちができちゃうと思うんです。雄郡のことは皆さんが一番よくわかっていらっしゃるんで、どうぞ、住民主体のまちづくりができればと思っております。

そして、最後になりますけども、冒頭に申し上げたとおり、このタウンミーティングというのは、職員に言っています、めんどいことをしましよ、めんどいことをしたら、その向こうにはもう1ついい、市民の皆さんの笑顔が待っていると思っておりますので、めんどいことをしようと言っております。ですので、きょういただいた意見を集約させていただいて、また、県・国などとも聞いて、現状はこうなっていますよというのを皆さんにお返しして、そして、また皆さんと、もう1つ高い次元で、また、こういうことになりましたけども、ほんなら雄郡としてはこうしようかというような、いい意見交換をして、また、いいまちになっていければというふうに思っております。こういう、いい地区の集まり、41地区あるんですけども、ひっくり返したら、14、伊予になるんですね。41地区が集まって、伊予を形成しておりますので、どうか、この地区それぞれがいいまちであって、それが、その集合体が松山ということにしていきたいと思っておりますので、今後とも、皆様、御協力のほどよろしくお願いいたします。

て、私の最後のあいさつさせていただきます。ありがとうございました。

—— 了 ——